

技術フォーラム ニュース

講演会 : トランプ大統領の登場と中東情勢

日時：平成 29 年 5 月 27 日（土）10:00~12:00

場所：港区六本木 麻布区民センター会議室

講師：遠藤茂様

外務省参与/GCC及び湾岸地域担当大使
元サウジアラビア大使、元チュニジア大使

主宰者挨拶

技術フォーラム理事長 原田敬美(前港区長)

工学博士、技術士(建設部門)、一級建築士

技術フォーラムは、平成 16 年の設立から今日までの 10 年間にわたりまして、地方自治体を技術面からサポートする活動を展開して参りました。これには、視野を広く保つことが欠かせませんので、幅広い分野の講演会を年に 4 回のペースで開催して参りまして、今回で 40 回目となります。

本日は、「トランプ大統領の登場と中東情勢」のテーマで、遠藤茂大使に講師をお願い致しました。一週間前には、トランプ大統領が、就任後初の外遊先としてサウジアラビアを訪問したところ。このため、最もホットで大変に興味深いお話を伺うことを楽しみにしております。

ここで、遠藤大使のご経歴を簡単にご紹介致します。

遠藤大使は、昭和 47 年に早稲田大学理工学部応用物理学学科をご卒業後、大変な難関である外交官の上級職試験に合格されました。

遠藤大使は、昭和 47 年に早稲田大学理工学部応用物理学学科をご卒業後、大変な難関である外交官の上級職試験に合格されました。



原田敬美理事長

外務省にご入省後は要職を歴任され、サウジアラビア大使やチュニジア大使も務められました。

外務省をご退職後は外務省の参与として、GCC及び湾岸地域担当大使を務めていらっしゃいます。

それでは、遠藤大使のご講演をよろしくお願致します。

講演の要旨：

ご紹介頂きました遠藤でございます。

まず、中東・北アフリカですが、世界有数のエネルギー供給源であり、また、昔からの国際物流の要衝です。非常に重要な地域です。他方で、イスラム教、キリスト教、ユダヤ教等の異なる宗教の混在と異なる民族、人為的国境線による統治機能の潜在的脆弱性、また大国間における歴史的な対立と不信等のリスクを抱えています。更に、近年「アラブの春」により幾つかの国では統治機能が瓦解し、この地域の不安定さを増しています。このように不安定な地域で、テロや大量破壊兵器が拡散



講師：遠藤茂大使

するリスクが顕在化していることが、今日の大きな問題となっています。また経済面では、最近の油価の下落により、産油国の財政を圧迫しています。

この地域には、5つの主要勢力があります。サウジアラビア、エジプト、イラン、イスラエル、トルコです。地域安定化の鍵を握る5カ国です。また、サウジアラビア、モロッコ、ヨルダン、オマーン等の王制国家が存在しています。これら王制国家は比較的安定しています。

さて、今年の1月にトランプ政権が誕生しました。トランプ大統領は、成功したビジネスマンですが政治は素人であると言われております。また、政権内部の政治任命幹部の登用に時間がかかっており、従って同政権の中東政策も未だ固まっていないようです。とは言え、現実的な対応も見えてきています。

そのトランプ大統領ですが、初の外遊先として中東を選び、先日サウジアラビア及びイスラエル、パレスチナを訪問しました。サウジアラビアではサルマン国王との会談等を行ったほか、米・アラブ・イスラム首脳会議に出席し、対テロ協力と連帯を訴え、

更にイランについて、国際テロを支援しているとして非難しました。イスラエル、パレスチナ訪問では、中東和平交渉を再開させ、合意を達成することへの強い熱意・意欲を表明しました。



講師：遠藤茂大使

この訪問を経て、トランプ政権の中東政策が少しずつ見えてきました。①対テロ・暴力的過激主義への対策、そのためアラブ・イスラム諸国等との協力・連帯 ②対イラン強硬策 ③サウジアラビア等のアラブ諸国との関係改善 ④親イスラエル路線等です。

まず、①についてですが、ISIL (Islamic State in Iraq and the Levant) (以下IS)、アル・カーイダ等のスンニ派過激組織が、イラク、シリアで跳梁跋扈しています。ISの支配地域は縮小しつつありますが、域外にも脅威が拡散しています。トランプ政権はIS対策を最優先課題として、対ISグローバル連合を重視しています。3月に開催した対ISグローバル連合閣僚級会合(ティラーソン米務長官主催)には、68の国や機関が参加しました。また、トランプ大統領のサウジアラビア訪問の際、「テロ資金対策センター」設立に向けた覚書の交換が行われ、さらに「過激思想との闘いのためのグローバルセンター」が開設されました。②イランに対しては、核合意の厳格な履行要求と、中東地域での同国の行動への厳しい対処が柱です。③について、同大統領は、サウジアラビア訪問中、同国との間で、安全保障、経済分野における関係強化に取り組みました。更にアラブ湾岸諸国(GCC)首脳とも会談を行い関係回復・強化に努めました。④トランプ大統領は、選挙期間中、在イスラエル米国大使館のテルアビブからエルサレムへの移転を表明していましたが、今回のイスラエル訪問でこの問題について進展があったかは明らかにされていません。中東和平に関しては、3年に亘って中断されている交渉が再開されるか注目です。

以上、これまでのトランプ政権の中東政策について述べてきましたが、未だ不透明な部分があります。今次中東訪問で示された種々の施策が今後どのように具体化されていくのか注視されていくこととなります。

ここで、トルコの憲法改正についてお話ししたいと思います。

トルコは、イスラム世界の中で、世俗主義・民主主義を実現している国の一つです。そのトルコで、4月、実権型大統領制導入の是非を問う憲法改正案の国民投票が行われ、僅差で承認されました。これに伴い、議院内閣制から大統領制に移行することになり、行政権は全て大統領に帰属するとともに、大統領令の発出権限の新設、大統領の議会解散権の新設、大統領に対する弾劾発議を難しくする条項の新設等、大統領の大幅な強権化が図られます。承認された憲法改正案は、2019年11月実施予定の大統領選挙以降に施行されますが、国内外政情にどのような変化がもたらされるか注目されます。

次に、イスラム主義について若干お話をさせていただきます。訪日外国人の急増に伴って、私たち日本人もイスラム教の人々との接点が増えてきます。イスラム主義とは、イスラムの理念を社会において実現することを理想とするものです。イスラム法に基づいて運営される国家を目指します。多くのイスラム教徒の人が、ISはイスラムではないと言います。他方、民主化を求めた「アラブの春」も実はイスラムの側面があります。イスラム主義と民主主義がどの様



講演風景

に調和されていくのか今世紀の文明的課題としても興味がある点です。他方、サウジアラビアは、イスラムに価値をおいた国の近代化を進めています。それは単なる西欧化ではなく、また日本の発展をモデルとしつつも、真似をするのではなく独自の発展形態を追求するとしています。

イスラム主義と私たちはどう付き合うべきかという課題があります。私は、イスラム世界との「文明間対話」を積極的に行うべきであると思っています。文明間交流を、特に我が国とイスラム世界の若い世代が中心となって地道に推進すれば、「信頼醸成」の種を蒔くことができます。地道な交流による「信頼醸成」こそ、時間はかかりますが、我が国が国際社会において貢献できる道であると思っています。

(了)

地域と行政を支える技術フォーラム そのユニークな特徴

◎ 特定非営利活動法人(NPO 法人)です。

当フォーラムは、建設・環境・情報等をベースとした専門家が、地域住民のパートナーとして助言・提言を行うとともに、地方行政事業の必要性・効率性・有効性・公平性・優先性について、地方行政を事前・事後あるいは途中においてサポートすることにより不特定多数のものの利益に寄与することを目的として、平成16年に内閣府認証のNPO 法人として設立されました。

前記の目的を達成するため、当フォーラムでは次の活動や事業を行っております。

- (1) まちづくりの推進を図る活動
- (2) 環境の保全を図る活動
- (3) 情報化社会の発展を図る活動
- (4) 経済活動の活性化を図る活動
- (5) 建設・環境・情報等に関する相談・助言・提言事業
 - ① 講演会・講習会・セミナーの開催
 - ② ホームページ、メールによる情報提供
 - ③ 交流会の開催
- (6) 地方行政事業に関するサポート事業
- (7) その他、目的を達成するために必要な事業

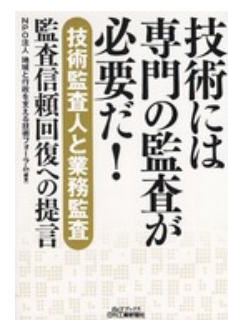
◎ 多様多彩な人材の宝庫です。

当フォーラムは、工学博士、技術士(建設、上下水道、環境、農業、情報工学、電気電子、機械、化学、経営工学他)、一級建築士など、多様多彩な有資格者で構成されております。

◎ 10年に及ぶ膨大な実績があります。

当フォーラムは、平成16年の設立以来、都内の市役所・区役所の他、北海道、青森、山形、福島、新潟、栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、神奈川及び静岡の各道県内市役所などにおいて、建築・土木・上下水道・環境・通信・情報・電気・機械各分野の工事監査等に伴う技術調査や、技術職員研修、管理職研修、監査委員研修の実施などに精力的に取り組んで参りました。このため、他に類を見ない膨大な実績を有しております。

この他、関係書籍の出版や、講演会を年に4回継続的に開催するなど、有用な情報の発信にも積極的に努めて参りました。



NPO 法人地域と行政を支える技術フォーラム 編著

◎ 品質の確保には組織的かつ継続的に取り組んでいます。

当フォーラムには、工学博士、技術士(建設、上下水道、環境、農業、情報工学、電気電子、機械、化学、経営工学他)、一級建築士など、第一級の人材が集っております。

しかし、建築・土木・上下水道・環境・通信・情報・機械各分野の工事監査等に伴う技術調査では、これを的確に行って高品質な結果報告書を作成するには、実務経験が絶対に欠かせません。

そこで当フォーラムでは、技術調査を初めて担おうとする者には、経験豊富な者による実際の技術調査への陪席を二回以上経験することを義務付けております。また、作成した結果報告書は、経験豊富な二名の校正担当者による校正を受けることを義務付けております。

このような品質の確保に向けた取り組みは、当フォーラムの設立当初から今日に至るまで、組

織的かつ継続的に行って参りました。このことは、他に類を見ないものです。

◎ 情報漏洩の防止は組織を挙げて徹底しています。

当フォーラムでは、工事監査に伴う技術調査等で知り得た情報が漏洩しないよう、関係書類の細断による破棄や、第三者に傍受される虞のある会話やメールにおける具体的な言及の禁止を徹底しております。

◎ 研修講師は当フォーラムにお任せ下さい。

当フォーラムは、官公庁等における技術系管理職経験者やプロジェクトマネジメント経験者、工事等発注業務経験者を多数擁しております。何よりも、当フォーラムの理事長は、工学博士、技術士(建設部門)及び一級建築士の資格を有する前港区長です。そこで、当フォーラムでは、毎月開催する例会や四半期ごとに開催する講演会において、自治体が直面する課題の把握やその解決策の研究に努めております。このような積み重ねの中から、「耐震技術と耐震対策」、「監査の役割と使命」、「都市計画」、「省エネと創エネ」、「技術プロジェクトのマネジメント」、「談合を許さない発注者のエンジニアリング」、「リスクマネジメントとダメージコントロール」、「情報セキュリティ」、「工事の監督と検査」、「建物や設備の維持管理」など、技術職員研修、管理職研修、監査委員研修に適した多彩な研修テーマをご用意しております。また、当フォーラムは、数多の技術分野の有資格者で構成されていますので、全くオリジナルな研修テーマについても、ご要望に応じて創り上げることができます。

◎ 技術コンサルティングも承ります。

当フォーラムは、技術コンサルティングも承っております。上記の研修講師が有する高度かつ専門的な知見を、自治体の技術プロジェクト運営支援や発注業務支援などに直接活用して頂くことができます。特定の事業に係るスポット契約や期間指定の契約など、多様なご要望にお応えできますので、まずは御気軽にご相談ください。

編集後記

当フォーラムでは、四半期ごとに開催している講演会の内容を広く皆様にお知らせすることを目的に、年に4回、「ニュースレター」を発行しております。この夏季号では、「トランプ大統領の登場と中東情勢」を特集しました。これは、平成29年5月に開催した講演会における、外務省参与で湾岸協力会議及び湾岸地域担当大使の遠藤茂様によるご講演内容です。

ニュースレターのバックナンバーにつきましては、URL (<http://www.efasca.jp/forum.htm>)におきまして全てをご覧頂けます。

今後とも、皆様方の声をもとに講演内容を考えていきたいと思っております。これからの講演内容についてのご要望や、ニュースレターについてのご意見、ご要望がございましたら、ぜひ、下記の当フォーラム事務局までお寄せ頂きますよう、お願い申し上げます。

特定非営利活動法人 地域と行政を支える技術フォーラム

電話 03-3403-2325

メール info.efasca@efasca.jp

ホームページ <http://www.efasca.jp/>

〒106-0032 東京都港区六本木 3-14-9 妹尾ビル4階

理事長 原田 敬美